

保存版

# 白浜町 洪水ハザードマップ

富田川の浸水想定および避難情報

早めの避難が  
あなたの命を救います。

## 洪水ハザードマップに整理した内容

- 富田川のはん濫計算結果(浸水範囲、浸水深)
- 洪水時避難場所(指定避難所、避難ビル)
- 一時的な緊急避難場所、避難経路
- 洪水情報および避難情報のなぐれ
- 重要水防箇所
- 土砂災害危険箇所(急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流、地すべり危険箇所) など

## 洪水ハザードマップ

### 洪水ハザードマップとは

洪水ハザードマップとは、洪水時における被害を最小限に食い止めることを目的とし、予想される浸水の程度や避難情報等の各種情報をわかりやすくマップに表示して、緊急時の避難に役立てるものです。

### 「洪水ハザードマップ」の内容

「洪水ハザードマップ」には、富田川が大雨によって増水し、溢水(水があふれる)、破堤(堤防が壊れる)した場合の洪水の広がる範囲や深さの程度、避難勧告、避難指示等の発令のタイミング、避難場所などを示しています。

また、地域の特性に応じて避難時に活用できる情報として、避難経路や土砂災害の危険箇所なども示しています。

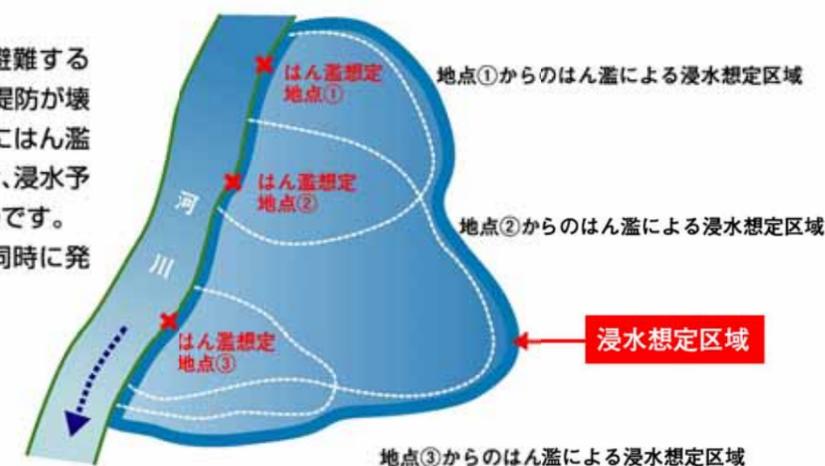
## 浸水想定区域について

このマップに示した浸水想定区域(浸水範囲と想定される水深)は、指定時点の富田川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨で富田川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

■ 洪水を予想するための雨の量 …… 富田川流域の日総雨量 418 mm

## マップの見方と注意事項

■ このマップに示した浸水の範囲や深さは、避難する側の視点に立って、溢水(水があふれる)、破堤(堤防が壊れる)のおそれのある地点を設定し、地点ごとにはん濫計算した後、それらの結果をすべて重ね合わせ、浸水予想による最大の範囲・深さなどを表示したものです。したがって、マップに表示した範囲に洪水が同時に発生するわけではありません。



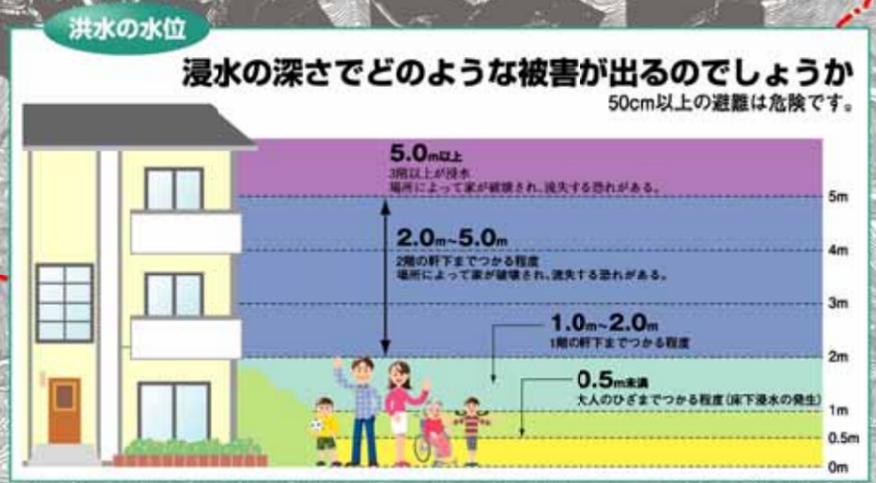
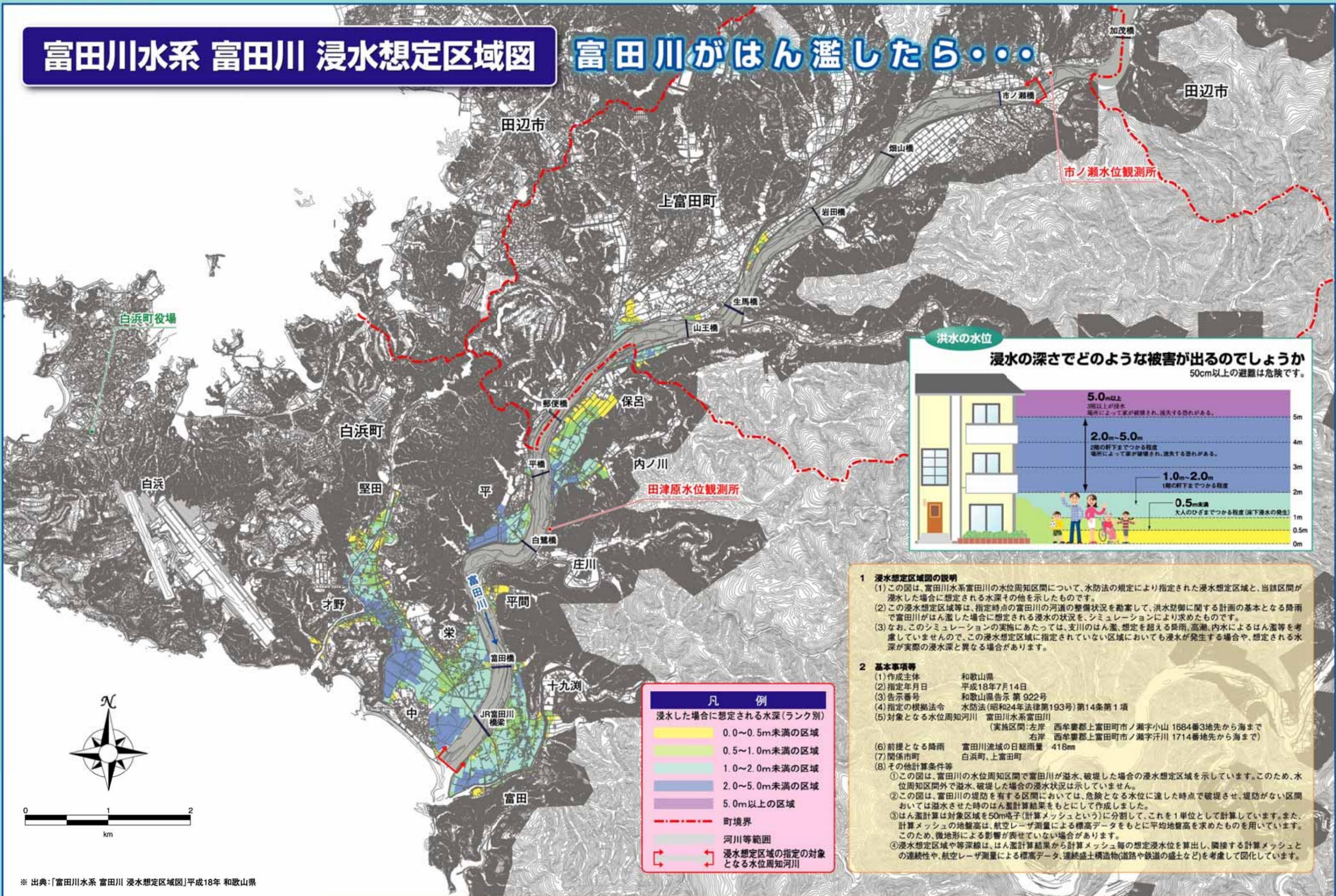
### <浸水想定区域が指定されていない区域における浸水の可能性について>

浸水想定区域は、計画の基本となる降雨を対象として、河川の整備状況に照らして浸水が想定される区域を示すものであり、その他の区域との水災に対する安全性の違いを明確に分けるものではありません。例えば、計画の基本となる降雨を超える降雨が発生した場合や、支派川のはん濫、高潮、内水によるはん濫等が発生した場合には、浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水するおそれがあります。

したがって、浸水予想範囲の近くにお住まいの方も、念のため避難してください。

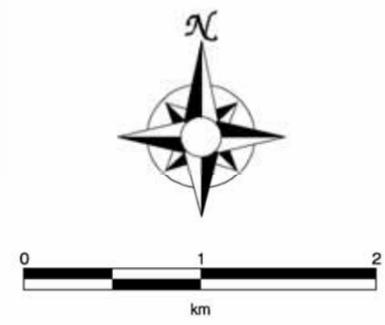
# 富田川水系 富田川 浸水想定区域図

# 富田川がはん濫したら・・・



- ### 1 浸水想定区域図の説明
- この図は、富田川水系富田川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区間が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
  - この浸水想定区域等は、指定時点の富田川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨で富田川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
  - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川のはん濫、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ### 2 基本事項等
- 作成主体 和歌山県
  - 指定年月日 平成18年7月14日
  - 告示番号 和歌山県告示第922号
  - 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
  - 対象となる水位周知河川 富田川水系富田川  
(実施区間:左岸 西牟婁郡上富田町市ノ瀬字小山 1684番3地先から海まで  
右岸 西牟婁郡上富田町市ノ瀬字汗川 1714番地先から海まで)
  - 前提となる降雨 富田川流域の日総雨量 418mm
  - 関係市町 白浜町、上富田町
  - その他計算条件等
    - この図は、富田川の水位周知区間で富田川が溢水、破堤した場合の浸水想定区域を示しています。このため、水位周知区間外で溢水、破堤した場合の浸水状況は示していません。
    - この図は、富田川の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防がない区間においては溢水させた時のはん濫計算結果をもとにして作成しました。
    - はん濫計算は対象区域を50m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量による標高データをもとに平均地盤高を求めたものを用いています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
    - 浸水想定区域や等深線は、はん濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、航空レーザ測量による標高データ、連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)を考慮して図化しています。

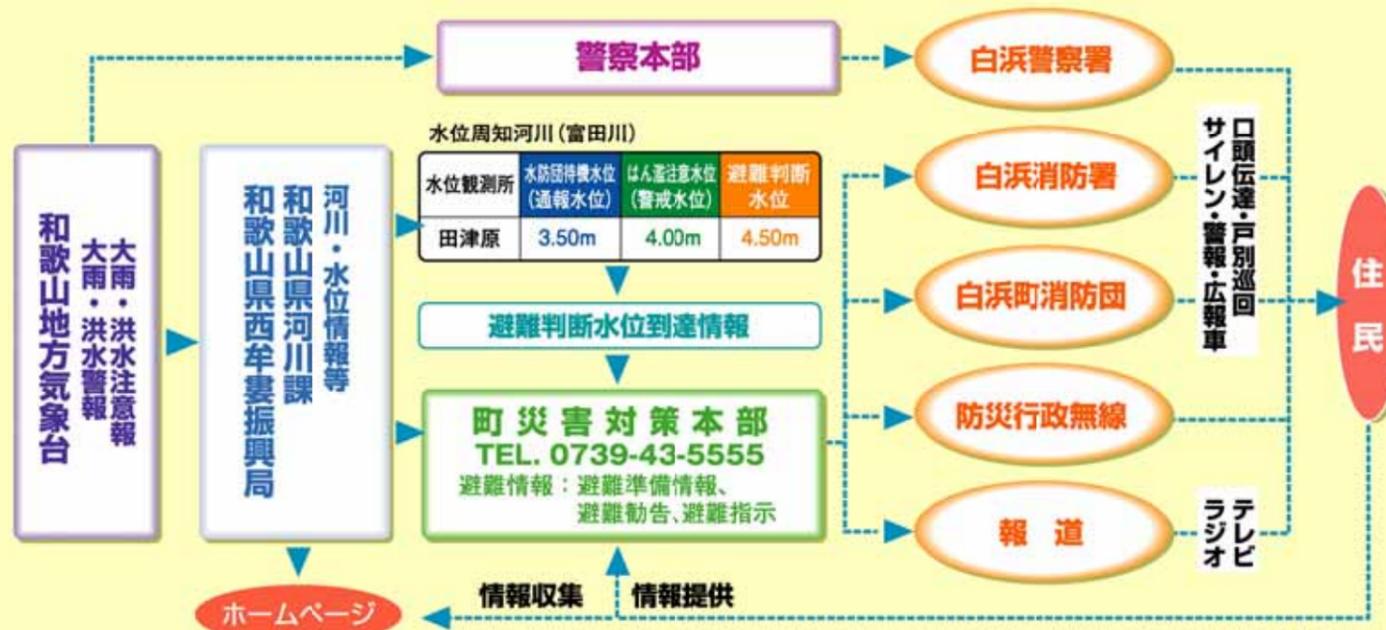
凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	0.0~0.5m未満の区域
	0.5~1.0m未満の区域
	1.0~2.0m未満の区域
	2.0~5.0m未満の区域
	5.0m以上の区域
	町境界
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



※ 出典:「富田川水系 富田川 浸水想定区域図」平成18年 和歌山県



# 洪水情報のながれ

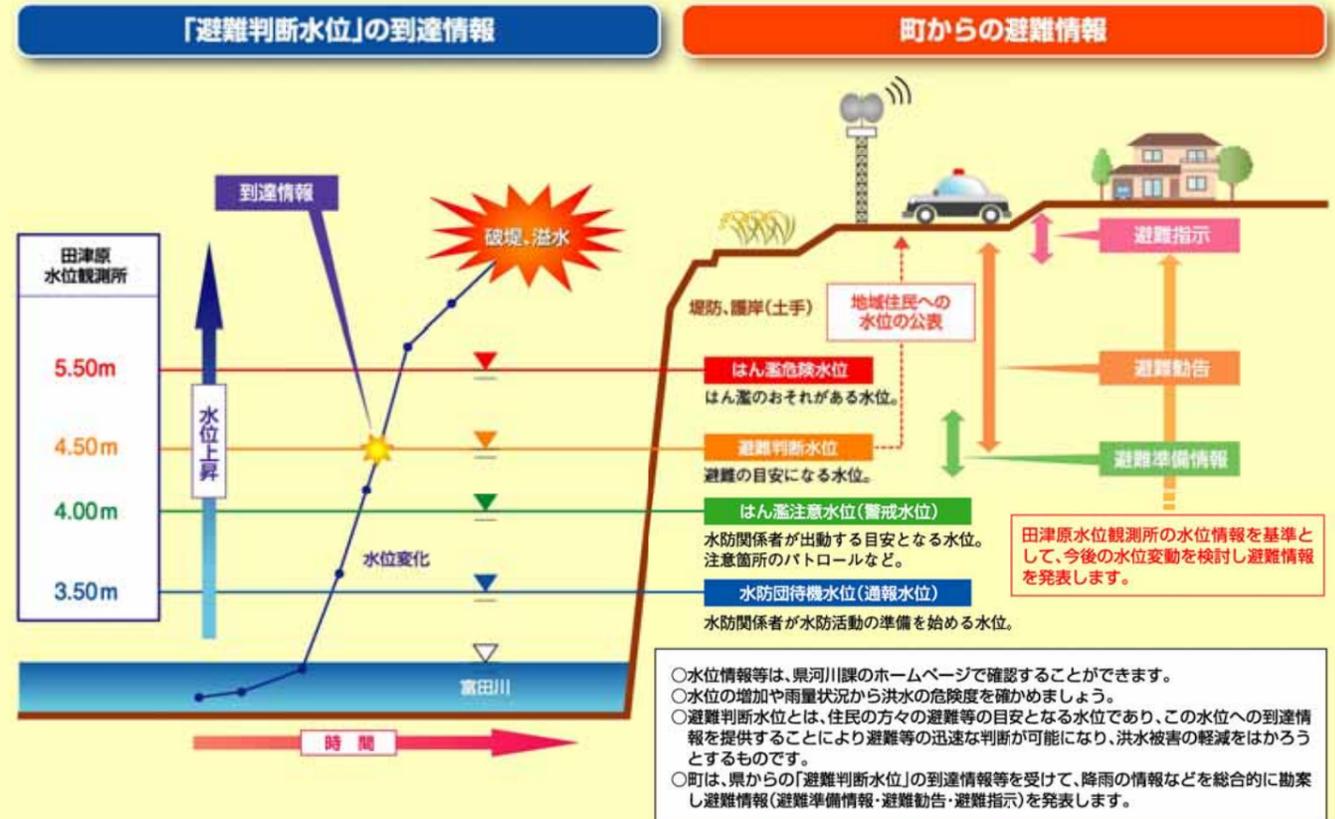


## 用語

- 水位周知河川  
法第13条第1項または同上第2項の規定により国土交通大臣または都道府県知事が指定した河川をいう。
- 避難判断水位  
避難判断水位は、洪水予報が困難である主要な中小河川において、住民等の避難等に資する洪水情報を的確に提供していくために、水防団、消防機関の出動等の目安となるはん濫注意水位(警戒水位)を超える水位として定められるものである。



# 「避難判断水位」の到達情報および町からの避難情報のながれ



○水位情報等は、県河川課のホームページで確認することができます。  
○水位の増加や雨量状況から洪水の危険度を確かめましょう。  
○避難判断水位とは、住民の方々の避難等の目安となる水位であり、この水位への到達情報を提供することにより避難等の迅速な判断が可能になり、洪水被害の軽減をはかろうとするものです。  
○町は、県からの「避難判断水位」の到達情報等を受けて、降雨の情報などを総合的に勘案し避難情報(避難準備情報・避難勧告・避難指示)を発表します。

## ＜町からの避難情報の内容ととるべき行動＞

避難準備情報・避難勧告・避難指示の3段階でお知らせします。

避難情報の種類	町からのよびかけ内容	住民のみなさんがとるべき行動
避難準備情報	こちらは、防災白浜町です。 ○○地区のみなさん！避難の用意をして下さい。現在、○○付近は、河川の増水のため危険な状態になりつつあります。お年寄りや子供さんを安全な△△(小学校、中学校、集会所など)へ早めに避難させて下さい。また、その他の人もいつでも避難できるように準備をして下さい。火の元を消して下さい。 避難する際の荷物は、背負うなり肩に掛けられる程度の最小限の非常用持出品にとどめ、両手は空けるようにしましょう。	いつでも避難できるよう準備しましょう。 テレビやラジオ、役場からの広報に注意し、お年寄りや子供は早めに避難させましょう。
避難勧告	こちらは、防災白浜町です。 ○○地区のみなさん！避難勧告が出ました。○○地域一帯は、○○川の○○付近がはん濫し、浸水しています。(○○地域一帯は、○○川の○○付近がはん濫のおそれがあります。)○○地区の住民の方々は、直ちに避難して下さい。避難先は、○○(小学校、中学校、集会所など)です。 【なお、現場に警察官や町職員・消防職員・消防団員などがある場合には、その指示に従って落ち着いて避難して下さい。】	避難時には、隣近所で声を掛け合い、お互いに助け合って、指定された避難所に速やかに避難しましょう。単独での避難は危険です。 避難時は、浸水箇所や土砂災害に注意しましょう。
避難指示	こちらは、防災白浜町です。 ○○地区のみなさん！避難指示が出ました。○○地域一帯は、○○川の○○付近がはん濫し、浸水しています。○○地区の住民の方々は、直ちに避難して下さい。避難先は、○○(小学校、中学校、集会所など)です。 【なお、現場に警察官や町職員・消防職員・消防団員などがある場合には、その指示に従って落ち着いて避難して下さい。】	指定された避難所に直ちに避難しましょう。 浸水等の影響により避難ができない場合は、近くの丈夫なできるだけ高い建物に避難しましょう。

避難準備情報が出される前に自主避難する方は、事前に役場へ連絡してください。  
白浜町災害対策本部 TEL 0739-43-5555(代)

※災害対策本部が設置されていない場合は  
白浜町総務課 TEL 0739-43-5555(代)

# 大雨による土砂災害に注意



**土砂災害の前兆現象**  
このような前触れを見たら  
すぐ通報、すぐ避難。  
**山鳴り**がする。  
川の流れが**濁り**、**流木**が混ざりはじめる。  
雨が降り続けているのに川の**水位が下がる**。  
地面・がけに**ひび割れ**ができる。  
**小石**がバラバラ落ちてくる。  
斜面・がけから**水が湧き出る**。

大雨による河川のはん濫だけではなく、土砂災害にも注意を払う必要があります。  
なお、危険箇所と表示されている場所以外でも土砂災害が発生する危険性がありますので、注意してください。